

プログラム

1日目 9月2日(土)

開会の挨拶

10:55～

伊藤 潔 (東北大学災害科学国際研究所災害医学研究部門災害産婦人科学分野)

特別講演 1

11:00～12:00

座長: 渡部 洋 (東北医科薬科大学産婦人科)

SL-1 経膈超音波断層法を用いた卵巣がん検診: Pitfall もまじえて

○横山 良仁

弘前大学大学院医学研究科産科婦人科学講座

ランチョンセミナー 1

12:00～13:00

座長: 板持 広明 (岩手医科大学医学部産婦人科学講座)

LS-1 子宮頸がんスクリーニングにおける HPV 検査の新たな可能性

○中村 充宏

金沢大学附属病院産科婦人科

共催: 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

特別講演 2

13:05～14:05

座長: 伊藤 潔 (東北大学災害科学国際研究所災害医学研究部門災害産婦人科学分野)

SL-2 がん検診のあり方: 超音波併用乳がん検診の検証試験 J-START を中心に

○大内 憲明

東北大学大学院医学系研究科客員教授

シンポジウム 1: HPV 検診の展開

14:30～16:00

座長: 青木 大輔 (慶應義塾大学医学部産婦人科学教室)

小田 瑞恵 (こころとからだの元気プラザ婦人科)

S1-1 子宮頸がん検診手法としての HPV 検査の有用性を検証するコホート研究 ― 進捗報告 ―

○森定 徹¹⁾、雑賀公美子³⁾、齊藤 英子⁴⁾、河野加奈子²⁾³⁾、斎藤 博³⁾、青木 大輔¹⁾

¹⁾慶應義塾大学医学部産婦人科学教室、²⁾慶應義塾大学大学院医学研究科医学研究系、

³⁾国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部、

⁴⁾国際医療福祉大学三田病院予防医学センター

S1-2 福井県における対策型検診に HPV (Human Papillomavirus) 検査同時併用検診導入の試み — 横断的検討結果を報告 —

○黒川 哲司、大沼 利通、品川 明子、知野 陽子、吉田 好雄
福井大学産科婦人科学教室

S1-3 山梨県における HPV 併用子宮がん検診の現状 (CITRUS study 含む)

○寺本 勝寛
山梨県立中央病院

S1-4 細胞診 / HPV 検査併用子宮がん検診導入に向けて — 米子市での取り組み —

○板持 広明¹⁾、大石 徹郎²⁾、紀川 純三³⁾
¹⁾岩手医科大学医学部産婦人科、²⁾鳥取大学医学部産科婦人科、³⁾松江市立病院

一般演題 1：検診の精度・課題

17:00~17:50

座長：植田 政嗣 (公益財団法人大阪府保健医療財団 大阪がん循環器病予防センター 婦人科検診部)

O1-1 子宮頸がん検診における HPV 検査の有用性に関する各無作為化割付試験のアルゴリズムの比較

○齊藤 英子¹⁾、雑賀久美子²⁾、河野可奈子²⁾³⁾、森定 徹⁴⁾、斎藤 博²⁾、青木 大輔⁴⁾
¹⁾国際医療福祉大学三田病院予防医学センター、
²⁾国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部、
³⁾慶應義塾大学大学院医学研究科医学研究系、⁴⁾慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

O1-2 健康増進事業における子宮頸がん検診のプロセス指標の年次推移

○雑賀公美子¹⁾、河野可奈子¹⁾²⁾、青木 大輔³⁾、齊藤 英子⁴⁾、森定 徹³⁾、斎藤 博¹⁾
¹⁾国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部、
²⁾慶應義塾大学大学院医学研究科医学研究系、³⁾慶應義塾大学医学部産婦人科学教室、
⁴⁾国際医療福祉大学三田病院予防医学センター

O1-3 HPV 検査を導入した自治体における子宮頸がん検診の精度管理の現状報告

○河野可奈子¹⁾²⁾、雑賀公美子¹⁾、青木 大輔³⁾、齊藤 英子⁴⁾、森定 徹³⁾、斎藤 博¹⁾
¹⁾国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部、
²⁾慶應義塾大学大学院医学研究科医学研究系、³⁾慶應義塾大学医学部産婦人科学教室、
⁴⁾国際医療福祉大学三田病院予防医学センター

O1-4 職域検診における子宮頸がん検診の実態調査 — 現状と課題 —

○松浦 祐介¹⁾、吉岡 真²⁾、中田 光紀³⁾、原賀 美紀³⁾、蜂須賀 徹⁴⁾、森 晃爾⁵⁾
¹⁾産業医科大学産業保健学部広域・発達看護学、²⁾産業医科大学産業保健学部人間情報科学、
³⁾産業医科大学産業保健学部産業・地域看護学、⁴⁾産業医科大学医学部産科婦人科学、
⁵⁾産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学

O1-5 婦人科悪性腫瘍に合併する悪性腫瘍：日本病理学会剖検輯報データベースを用いた解析

○三木 康宏¹⁾、菅原 由美²⁾、柴原裕紀子^{3,4)}、辻 一郎²⁾、笹野 公伸³⁾、伊藤 潔¹⁾
¹⁾東北大学災害科学国際研究所災害医学研究部門災害産婦人科学分野、
²⁾東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野、³⁾東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野、
⁴⁾横浜労災病院病理診断科

一般演題2：各県・地域での検診への取り組み

17:50～18:30

座長：坂本 優（公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院婦人科）

02-1 熊本県における子宮頸がん検診受診率向上への取り組みとその成果

○宮原 陽、高石 清美、大竹 秀幸、田代 浩徳、宮村 伸一、田中 信幸、
福岡 啓造、八木 剛志、片渕 秀隆

熊本県がん検診従事者（機関）認定協議会 子宮がん部会

02-2 秋田県における子宮がん検診の精度向上に向けての取り組み

○大山 則昭¹⁾、佐藤 直樹²⁾、軽部 彰宏³⁾、南條 博²⁾、吉岡 知巳⁴⁾、高橋 道⁵⁾、
提嶋 真人⁵⁾、寺田 幸弘²⁾

¹⁾秋田赤十字病院、²⁾秋田大学医学部、³⁾由利組合総合病院、⁴⁾秋田厚生医療センター、

⁵⁾市立秋田総合病院

02-3 子宮頸がん早期発見への HPV 併用検診の有用性

○軽部 彰宏¹⁾、齋藤 史子¹⁾、中村恵菜実¹⁾、金森 勝裕¹⁾、佐藤 広造²⁾、早川 正明³⁾、
渋谷 守重⁴⁾、佐々木英昭⁵⁾

¹⁾由利組合総合病院、²⁾佐藤病院、³⁾本荘第一病院、⁴⁾しぶやこまちクリニック、⁵⁾佐々木産婦人科医院

02-4 三重県における HPV 検査併用子宮頸がん検診体制の普及に関する取り組み

○矢納 研二¹⁾、田畑 務²⁾、奥川 利治²⁾、小林 良幸²⁾、本橋 卓³⁾、谷田 耕治³⁾、
谷口 晴記⁴⁾、田中 浩彦⁴⁾、森川 文博⁵⁾、池田 智明²⁾

¹⁾鈴鹿中央総合病院産婦人科、²⁾三重大学医学部産科婦人科、³⁾市立四日市病院産婦人科、

⁴⁾三重県立総合医療センター産婦人科、⁵⁾森川病院産婦人科

プログラム

2 日目 9 月 3 日 (日)

特別講演 3

09:00~10:00

座長：新倉 仁（東北大学大学院医学系研究科婦人科学分野）

SL-3 『子宮頸癌取り扱い規約 病理編第 4 版』を読み解く

○三上 芳喜

熊本大学医学部附属病院病理部・病理診断科

一般演題 3：HPV 感染・ワクチン

10:00~10:30

座長：杉山 裕子（がん研究会有明病院細胞診断部・婦人科）

O3-1 子宮頸がん検診における HPV 感染状況の変遷

○前濱 俊之、當眞真希子、小林 剛大、大城 大介、神山 和也

豊見城中央病院産婦人科

O3-2 HPV ワクチンの中長期的な効果の検証：OCEAN STUDY 中間解析の報告

○八木 麻未¹⁾、上田 豊¹⁾、大道 正英²⁾、角 俊幸³⁾、木村 正¹⁾、岡田 英孝⁴⁾、
松村 謙臣⁵⁾、志村研太郎⁶⁾、宮城 悦子⁷⁾、榎本 隆之⁸⁾

¹⁾大阪大、²⁾大阪医大、³⁾大阪市大、⁴⁾関西医大、⁵⁾近畿大、⁶⁾大阪産婦人科医会、⁷⁾横浜市大、⁸⁾新潟大

O3-3 HPV-DNA 検査併用子宮頸がん検診での若い世代の再受診状況の現状

○阿部 里絵、市川 浩巳、栄田 尚子、和田 恒之、日野 順子、高橋奈穂美、加藤 修、
藤田 博正、佐々木隆之

北海道対がん協会細胞診センター

シンポジウム 2：検診の新たな課題

10:30~12:00

座長：鈴木 光明（新百合ヶ丘総合病院がんセンター）

小澤 信義（おざわ女性総合クリニック）

S2-1 子宮頸がん検診受診率向上を目指した自己採取 HPV 検査：世界の動き

○Sharon Hanley

北海道大学大学院医学研究科総合女性医療システム学講座

S2-2 英国での sample taker システムの実態調査

○吉田 朋美

群馬大学大学院保健学研究科生体情報検査学分野

S2-3 子宮頸がん検診のパラダイムシフト：HPV をターゲットにした新しい予防戦略

○松本 光司

昭和大学医学部産婦人科学講座

S2-4 HPV ワクチン接種世代・停止世代のリスク認識と検診

○上田 豊

大阪大学大学院医学系研究科産科婦人科学教室

ランチオンセミナー 2

12:00~13:00

座長：青木 大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

LS-2 子宮頸癌の自然史から考察した細胞像、HPV 検査結果の読み方

○笹川 寿之

金沢医科大学産科婦人科学

共催：ホロジックジャパン株式会社

教育講演 1

13:10~13:40

座長：笹川 寿之（金沢医科大学産科婦人科学）

子宮頸部病変のコルポスコピー

○田勢 亨

宮城県立がんセンター婦人科

教育講演 2

13:40~14:10

座長：榎本 隆之（新潟大学医学部産科婦人科学教室）

若年者の子宮頸がん検診の課題

○宮城 悦子

横浜市立大学医学部産婦人科学教室

教育講演 3

14:10~14:40

座長：佐々木 寛（医療法人沖縄徳州会千葉徳州会病院婦人科）

日本人間ドック学会における婦人科検診の向上とこれからの展望

○和田 高士

東京慈恵会医科大学大学院医学研究科健康科学、公益社団法人 日本人間ドック学会副理事長

日本産婦人科医会 日本対がん協会共同事業 ワークショップ： 子宮頸がん検診の新たな夜明け — LBC、HPV 検査の普及に向けて —

14:40~16:10

座長：鈴木 光明（新百合ヶ丘総合病院がんセンター）

伊藤 潔（東北大学災害科学国際研究所災害医学研究部門災害産婦人科学分野）

WS-1 LBC/HPV 検査併用検診のすすめ — 小山地区モデル事業の結果の検証を中心に —

○鈴木 光明¹⁾、藤原 寛行²⁾、森澤 宏行²⁾、佐山 雅昭³⁾、平尾 潔³⁾、木村 孔三⁴⁾

¹⁾新百合ヶ丘総合病院がんセンター、²⁾自治医科大学産婦人科、³⁾栃木県産婦人科医会、

⁴⁾小山地区医師会

WS-2 仙台市での子宮がん検診への LBC、HPV 検査導入の試みと課題

○小澤 信義¹⁾、古賀 詔子²⁾、松永 弦²⁾、黒川 典子³⁾、志賀 朋子⁴⁾、石垣 洋子⁴⁾、
東岩井 久³⁾⁴⁾

¹⁾おざわ女性総合クリニック、²⁾仙台市医師会理事、³⁾宮城県医師会健康センター、

⁴⁾せんだい総合健診クリニック

WS-3 LBC による新潟市の対策型子宮頸がん検診成績の解析

○児玉 省二¹⁾、菊池 朗²⁾、笹川 基²⁾、倉林 工³⁾、西野 幸治⁴⁾、関根 正幸⁴⁾

¹⁾新潟南病院産婦人科、²⁾新潟県立がんセンター新潟病院婦人科、³⁾新潟市民病院、

⁴⁾新潟大学医歯学総合病院産婦人科

WS-4 LBC（液状化細胞診）の真価の検証 ― 日本対がん協会・日本産婦人科医会共同研究から ―

○伊藤 潔¹⁾、小澤 信義²⁾、小西 宏³⁾、鈴木 光明⁴⁾、垣添 忠生³⁾

¹⁾東北大学災害科学国際研究所災害医学研究部門災害産婦人科学分野、²⁾おざわ女性総合クリニック、

³⁾日本対がん協会、⁴⁾新百合ヶ丘総合病院がんセンター

閉会の挨拶

16:10～